

## 梅毒患者が増加中

戦後間もない頃には「不治の病」として、年間20万人以上の患者が発生していた梅毒。その後は抗菌治療薬の普及で数千人程度までに減少しましたが、昨年は4000人を超え今年はそのを上回る勢いで増加しています。

梅毒は「梅毒トレポネーマ」という細菌によって発症する感染症。最も多い感染経路は性行為で、梅毒トレポネーマが皮膚や粘膜の小さな傷口から進入します。また、感染している女性が妊娠すると母子感染して、生まれてくる子どもが「先天性梅毒」になることがあり注意が必要です。

梅毒は初期の頃には性器や肛門などに硬いしこりや潰瘍、赤いブツブツなどができることがあります。厄介なのは治療をしなくてもやがて症状が消えてしまうことです。



梅毒は治療を怠ると死に至る重大な疾患。病気に対する知識が不足していたり、症状が現れても恥ずかしいからと病院に行かないケースもあるようです。

梅毒に対する知識をしっかり持つて、おかしいなと思ったら必ず専門の病院で検査を受けましょう。

## 突然の災害に備えよう

昔から怖いものの代名詞として、「地震雷火事親父」といわれてきました。時代と共に親父の権威は地に落ちましたが、近年は想定外の災害

害が身近なものになっていきます。最近の熊本地震、九州北部豪雨など、いつ私たちの身に降りかかっても不思議ではありません。

## ■家庭で備える

### 災害時備品

- ※飲料水 1人1日3リットルを目安
- ※非常食 保存期間が長くて火を使わず食べられるもの
- ※医薬品 常備薬、包帯、絆創膏、消毒薬、持病の薬
- ※衣類 下着、雨具、軍手、防寒具、靴下、その他
- ※停電用具 懐中電灯、電池、ろうそく、マッチ

## ■非難袋に入れて

### 持って行くもの

水(500ml)、非常食、医薬品、海中電灯、傘、衣類、タオル、ひも、洗面道具、ビニール袋、筆記具、ティッシュ、貴重品(財布・通帳・免許証等) 万一のときは慌ててしまいたい想定どおりにはいきません。そのためにも普段からの備えが大切です。



# 野外で遊ぼう

## 高原のキャンプ場特集

毎年この時期はキャンプ場の特集をしています。今月は温泉や川遊びのできる九重高原のキャンプ場をピックアップしました。

標高が高い高原のキャンプ場は街中と違って涼しき満点。この夏は親子で楽しく自然体験しませんか。登山、滝、温泉、湧水、乗馬体験、吊橋など、好みのプランを計画してください。

### 三愛オート

#### キャンプ場

阿蘇の北外輪山にあるこのキャンプ場は、標高900mに位置する高原のキャンプ場です。テントサイトから見る阿蘇五岳の風景が素晴らしい。

レストハウスが側にあるので、バイキングランチや売店なども充実しています。また、黒川温泉にも近いので、温泉手形を買って温泉巡りも楽しそうですね。

阿蘇郡南小国町瀬の本高原

TEL 0967-44-0011



### 山鳥の森オート

#### キャンプ場

広々とした敷地にはプール、川遊び、釣堀、温泉もあるファミリー向けのキャンプ場です。バンガローは早目に予約しないと空きがありませんが、テント持参なら直前の予約でも大丈夫と思います。

三愛レストハウスや黒川温泉も近いので便利です。

阿蘇郡南小国町満願寺

TEL 0967-44-0997

## ゆつすい自然の森

### キャンプ場

約9万年前の阿蘇山の大噴火で流れ出た溶結凝灰岩の上に来たこの渓谷は、川床が数キロに渡って一枚岩になっています。水深も浅く数十センチしかないのです。こどもでも川床を歩くことができます。夏の避暑地としては最高ですよ。

熊本県阿蘇郡小国町西里

TEL 090-2398-2892

